



小学部の学習の紹介～生活の基礎になる力～

小学部では、自立的な生活の基礎になる力を身に付けることを目標に、特別活動、日常生活の指導、生活単元学習、自立活動等を中心に、教育活動全体において指導を行っています。
～今回は「日常生活の指導」での取組について紹介します。～

小学部1年生「挨拶」

小学部1年生は、人との関わりの第一歩となる「挨拶」を頑張っています。登校し、挨拶運動をしている生徒や出迎える教師の前に立ち、朝の挨拶をしています。**相手の方を見て挨拶すること**を目標に、現段階では、**立ち止まって挨拶できるよう**支援しています。1年生は自分より身長が高い相手を見上げながら、教師と一緒にゆっくり大きな声で挨拶します。

自分から挨拶ができる力は、将来必要な力であり、**小学部で身に付けておきたい力**です。朝や帰りの挨拶など日々の学校生活の中で**繰り返し**学習することで、身に付けることができるように取り組んでいます。



小学部4年生「掃除」

小学部4年生は火・水・木曜日の下校前に、教室の掃除を行っています。「雑巾をぐしぐし洗う」「机や床の端まで拭く」など毎回目標を立て、ほうきを使っての床掃きや床の雑巾掛け、机拭きを行っています。掃き掃除では、床に線を引くことで、**どこまでごみを掃けばいいのかが分かり、線に沿って真っ直ぐ掃くことができるようになってきました**。また、終了時刻を設定することで、**時間内に終わられるよう、友達に声を掛け、協力しながら掃除**をしています。

基本的な掃除の仕方学ぶことで**他の学習活動や、家庭生活へと発展**していくことができます。また、掃除に学級で協力して取り組むことで、**みんなで使う場所を大切に**する気持ちや、**集団生活を意識する**といった**協調性**など、社会生活を送る上で大切な力が身に付きます。

